

No.62	事業名 ラムサール条約関連事業	24年度 予算額	4,553 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

「円山川下流域及び周辺水田」のラムサール条約湿地登録に向けた準備を進めるとともに、コウノトリ生息地保全対策事業（No. 79）とも連携しながら、登録後の普及啓発や活用を進める。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

- ①登録準備、普及啓発
- ②登録（ラムサールCOP11への参加）  
\*開催期間：2012年7月6日（金）～7月13日（金）
- ③登録記念行事 ～ラムサールWeek～  
\*2012年7月22日（日）～7月29日（日）

#### (2) 事業期間

平成23年度～

#### (3) 事業主体

豊岡市（コウノトリ生息地保全協議会と連携）

### 3 24年度予算

#### (1) 予算額

4,553 千円

#### (2) 事業内容

- ①登録準備、普及啓発（1,573 千円）  
・ラムサールMap・パンフレットの作成、啓発グッズ作成等
- ②登録（ラムサールCOP11への参加）（1,475 千円）  
・COP11開催地・ルーマニアへの渡航  
・COP11でのサイドイベント、ブース展示の実施
- ③登録記念行事 ～ラムサールWeek～（1,505 千円）  
・記念フォーラム  
・生物多様性ボランティア作業  
・記念行事「子どもラムサール」  
・記念公演 ミュージカル「おもひでぼろぼろ」

担当課名【コウノトリ共生課】（内線2342）

施策体系番号 2-1-1

No.63	事業名 生物多様性地域戦略の策定	24年度 予算額	2,458 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

コウノトリ野生復帰事業を通じて積み重ねられてきた経験や、蓄積された各種データを基に、生物多様性基本法や生物多様性国家戦略で求められている「生物多様性地域戦略」を策定する。

戦略策定の過程で、市民への生物多様性保全意識の浸透を目指す。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内容

「生物多様性地域戦略検討委員会」（委員 18 名。うち高校生委員 6 名）と協働しながら、『実践』をテーマとした豊岡らしい地域戦略を策定する。

#### (2) 事業期間

平成 23～24 年度

#### (3) 事業主体

豊岡市

#### (4) 全体事業費

5,039 千円

### 3 24 年度予算

#### (1) 予算額

2,458 千円

#### (2) 事業内容

委員と市民が協働しながら、いくつかの特徴的な分野で生物多様性を意識した実践イベントを企画・実施する。その過程で見えてくる課題や成果を具体事例としながら、『実践』に結びつくような戦略を組み上げる。

- ・戦略検討委員会の開催（666 千円）

学識経験者〔研究者〕、市民識者〔市内環境活動団体等〕、行政側識者〔国県〕、将来世代の目線〔小学校教諭・高校生〕による検討委員会を 5 回開催。

- ・実践イベントの実施（1,067 千円）

「イベント企画 → イベント実施 → 振り返り・まとめ」を 1 セットに、7 つの分野を想定。

- ・シンポジウムの開催（393 千円）

パブリックコメント（意見公募）のためのシンポジウム開催。

- ・その他（332 千円）

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2342）

施策体系番号 2-1-1

No.64	事業名 地籍調査事業	24年度 予算額	146,822 千円	新規 拡大 継続
-------	------------	-------------	------------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

精度の高い土地情報を把握し、その成果を活用することにより、公共事業、災害復旧等の効率化・円滑化、適切な土地管理、課税の公正・公平性を図る。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目等の調査を行うとともに境界の確認と地積測量を行い、「地籍簿」と「地籍図」を作成し、国県の認証を経て法務局に送付する。登記完了地区においては、申請に基づき一筆ごとの図形と筆界点座標値の証明を発行する。

#### (2) 事業期間

平成 18 年度～

#### (3) 事業主体

豊岡市

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費は未定

国 50%、県 25%、市 25%

### 3 24 年度予算

#### (1) 予算額

146,822 千円

#### (2) 事業内容

【調査実施地区】戸牧、岩井、伊賀谷、日高町藤井、祢布、国分寺、水上、山本、竹貫、上石、河江、久斗、城崎町結、竹野町金原、森本、川南谷、出石町暮坂、但東町奥赤

【事業量】図根三角測量・調査図素図作成（1.78 km<sup>2</sup>、1,658 筆）、現地立会調査・詳細測量（4.85 km<sup>2</sup>、3,327 筆）、地籍図案・地籍簿案作成（5.87 km<sup>2</sup>、1,899 筆）

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

北近畿豊岡自動車道に係る先行地籍は、豊岡病院周辺以北の戸牧、岩井について現地立会調査を実施する。

担当課名【地籍調査課】（内線 2392）

施策体系番号 3-2-1

No.65	<b>土砂災害危険度判定</b> 事業名 <b>システムの構築</b>	24年度 予算額	19,000 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> 拡大 継続
-------	---	-------------	-----------	---

### 1 事業目的（趣旨）

豪雨時に土砂災害が予想される場合に、1kmメッシュのピンポイントで危険箇所を把握し、早期に市民へ情報を発信することにより市民の避難や地区内の要援護者の避難（移送）の判断基準となる情報の精度の向上を図るため、土砂災害危険度判定システムを構築する。

### 2 24年度予算

#### （1）予算額

19,000 千円

#### （2）事業内容

土砂災害危険度判定システムの構築 N=1 式 対象地域：豊岡市全域

### 3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

現在の県の土砂災害警戒情報は、市域全体に対して情報提供されるため、どの地域がどの程度危険な状態なのか把握が困難であったが、このたび、(財)建設工学研究所で構築されたシステムを導入することとした。

これにより、1kmメッシュのピンポイントで危険箇所が把握できるようになり、信頼度が格段に向上する。

この情報を市民に提供することにより、市民の避難や地区で避難支援を必要とする要援護者を避難させる際の有力な判断情報となる。

平成16年7月に福井県で発生した豪雨災害を例に、後追いではあるが検証された結果、土砂災害的中率は、従来の降雨強度のみによる評価法の1%から65～80%に向上したとのことである。

担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 1-1-1

# 土砂災害危険度判定システム

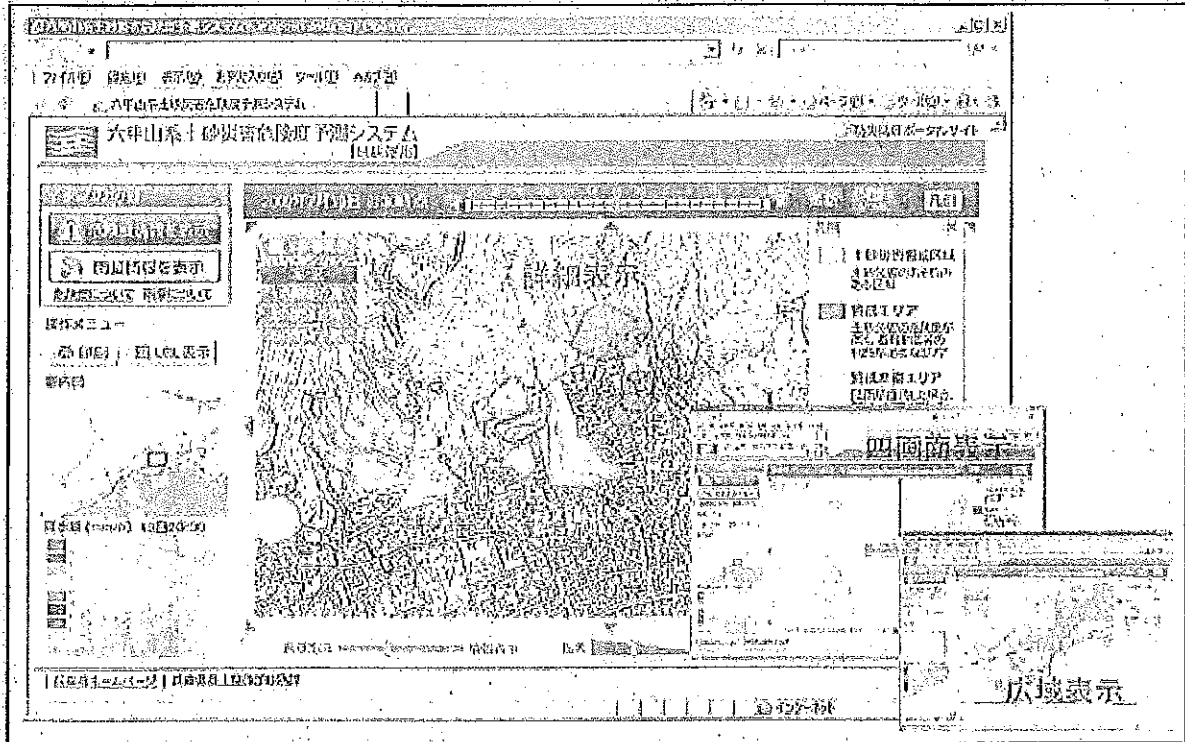
現状の斜面の土砂災害に対する危険度の判定

- ハザードマップ（地形、地質、地盤条件等を考慮）によって判定。
- 雨量強度（時間雨量、実効雨量、土壌雨量指数等）によって判断し、避難警報、避難勧告、避難指示、通行止め等を発令。

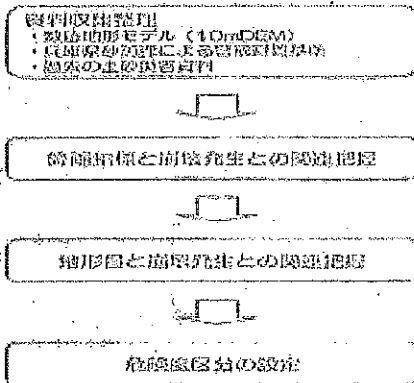
すなわち、雨量強度とハザードマップとはお互いに独立している。



雨量強度と現行のハザードマップを同時に考慮することによって、豪雨時の斜面の土砂災害の危険度を、ピンポイントで且つリアルタイムに、少なくとも2時間前に判定できるシステム



## モデル作成の流れ



モデル作成に必要な基礎的な既存資料を収集する。

過去の土砂災害発生時の降雨指標と災害発生との関係を把握する。

傾斜や流域面積、谷の曲率と災害発生との関係を把握する。

降雨指標および地形量と災害発生との関係を反映した危険度区分を設定する。

No.66 事業名 市街地北部内水対策	24年度 予算額	5,000 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

都市化の進行に伴う遊水機能の減少や近年の異常気象により、豊岡地城市街地において市道の冠水や床下浸水被害が頻繁に発生しているため、平成 23 年度に北部内水排水ポンプを整備したところである。

平成 24 年度は更なる被害の減少を図るため、主要幹線水路の合流部などの障害物を除去することにより、流下能力を向上させ、安心な街づくりを目指す。

2 24 年度予算

(1) 予算額

5,000 千円

(2) 事業内容

亀山水路合流部改良工事 N=1 式 位置：豊岡市幸町地内

担当課名【建設課】(内線 2421)

施策体系番号 1-1-1

北部内水対策事業



No.67 事業名 道路維持事業	24 年度 予算額	42,300 千円	新規 拡大 継続
------------------	--------------	-----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

道路の舗装修繕については、交通量の増加と経年劣化により舗装路面がひび割れて損傷が著しいため、早期に修繕を行い、円滑な道路交通を確保する。

排水ポンプの修繕・改良については、市街地内水排水ポンプが老朽化により排水能力が低下しているため、修繕や施設の改良を行い、道路冠水の軽減を図る。

### 2 24 年度予算

#### (1) 予算額

42,300 千円

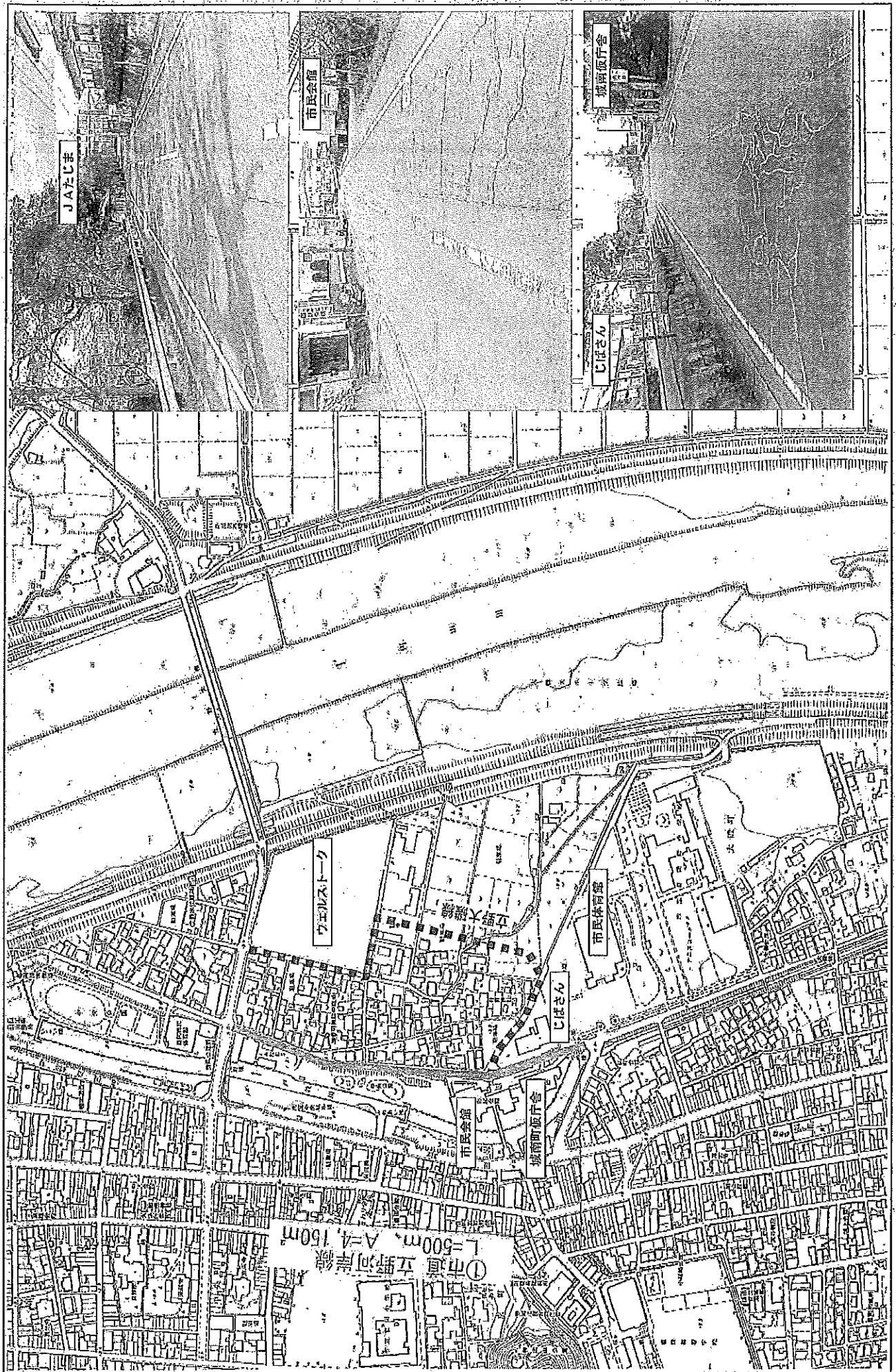
#### (2) 事業内容

- |                 |        |                |
|-----------------|--------|----------------|
| ・立野河岸線舗装修繕工事    | L=500m | 位置：豊岡市大磯～立野地内  |
| ・若松小田井線舗装修繕工事   | L=250m | 位置：豊岡市幸町～小田井地内 |
| ・田鶴野東部幹線舗装修繕工事  | L=380m | 位置：豊岡市野上地内     |
| ・4号正法寺排水ポンプ修繕工事 | N=1 基  | 位置：豊岡市正法寺地内    |
| ・長崎町排水ポンプ施設改良工事 | N=1 式  | 位置：豊岡市城崎町湯島地内  |

担当課名【建設課（内線 2421）】

施策体系番号 3-2-3





大規模舗装修繕事業



排水ポンプ設置位置図

平成23年4月末時点

大開一日市ポンプ  
排水能力 1.0m<sup>3</sup>×2台(予備1台)

上陰ポンプ  
排水能力 2.5m<sup>3</sup>×2台

国道178号地下道  
排水能力 0.25m<sup>3</sup>×2台

西花園ポンプ  
排水能力 0.5m<sup>3</sup>×1台

4号正法寺排水ポンプ  
排水能力 11.0m<sup>3</sup>×2台(設置)  
内1台の修繕を行う

3号正法寺排水ポンプ  
排水能力 11.0m<sup>3</sup>×2台

西宮川排水ポンプ  
排水能力 4.0m<sup>3</sup>×2台

妙楽寺ポンプ  
排水能力 2.5m<sup>3</sup>×2台

南高ポンプ  
排水能力 1.5m<sup>3</sup>×2台

# 長崎町ポンプ修繕事業

